

## 2021年度 第360回教育研究審議会議事要録

**日時** 2021年6月29日(火) 13:30~15:15  
**場所** 遠隔会議 (Teams利用)  
**出席者** 松尾学長、柳井副学長、龍副学長、二宮副学長、中尾副学長、中本事務局長  
伊藤外国語学部長、浦野経済学部長、田島文学部長、田村法学部長、内田地域創生学群長、  
上江洲国際環境工学部長、廣渡基盤教育センター長、八百社会システム研究科長、  
工藤マネジメント研究科長、重松法学研究科長、下野学生部長、後藤教務部長、  
狭間入試広報センター長、浅羽情報総合センター長、中武環境技術研究所長

**配布資料**

- 1-1 第44回組織人事委員会審議結果
- 1-2 教員採用申請書 (基盤教育センター)
- 1-3 欠員補充申請 (基盤教育センター)
- 1-4 欠員補充申請 (国際環境工学部)
- 1-5 欠員補充申請 (国際環境工学部)
- 1-6 欠員補充申請 (国際環境工学部)
- 1-7 欠員補充申請 (国際環境工学部)
- 1-8 教育職員の休職について
- 2 特任研究員の選考について
- 3 アセスメントプランの策定について
- 4-1 アセスメントプランにおける点検評価の実施について
- 4-2 アセスメントプランの点検評価項目の関連整理表
- 4-3 アセスメントプランにおける点検評価内容とデータ項目
- 4-4 アセスメントプランに対するコメント
- 4-5 アセスメントプランと部局活動計画の関連について
- 5 教育改革推進室の再編について
- 6 2021年度部局活動計画の点検結果について
- 7 数理・データサイエンス・AI科目内容(案)について

### 第1号 教員の人事について

\* 資料 1-1 のとおり、組織人事委員会での審議に基づき、基盤教育センターにおける教員配置について提案。

- 全学部学群の学生を対象として、2022年度からリテラシーレベルの数理・データサイエンス・AI教育を基盤教育科目として実施することが決定したことを受けて、その実施に向け、基盤教育センター教養教育部門に専任としての教員配置の申入れがあった。組織人事委員会において審議した結果、本申入れを了承し、学長が欠員補充を保留している基盤教育センターに所属していた岡本清美准教授(2021年3月退職)の後任ポストを充てることとした。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

\* 資料 1-2 のとおり、基盤教育センターからの申請に基づき、データサイエンス・AI担当教員の教員採用について提案。

- 教職課程の科目についても、今回の教員採用申請に基づいて採用される教員に担当いただく可能性があるため、その旨を付記していただきたい。
- 教員公募の際にはその旨を付記する。
- 今回はデータサイエンスの担当教員を採用することが目的であるため、データサイエンスを担当で

きる教員を優先して選考いただきたい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）  
（議案承認の後、選考委員会を設置）

\* 資料 1-3 のとおり、基盤教育センターからの申請に基づき、2022 年 3 月 31 日付で退職する徳永政夫教授の後任として、健康・スポーツ科学担当教員 1 名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）  
（議案承認の後、選考委員会を設置）

\* 資料 1-4 のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、2022 年 3 月 31 日付で退職する伊藤洋教授の後任として、化学を基盤とした環境科学に関する分野担当教員 1 名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）  
（議案承認の後、選考委員会を設置）

\* 資料 1-5 のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、2020 年 3 月 31 日付で退職した奥田正浩教授の後任として、通信ネットワーク、計測応用技術担当教員 1 名の欠員補充申請について提案。

○ 学科内の教員の専門性を考慮し、奥田教授が担当していた科目は他の専任教員が担当することとした上で、今回は奥田教授の担当分野とは別の分野で欠員補充を行うもの。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）  
（議案承認の後、選考委員会を設置）

\* 資料 1-6 のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、2021 年 3 月 31 日付で退職した京地清介准教授の後任として、信号処理、人工知能担当教員 1 名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）  
（議案承認の後、選考委員会を設置）

\* 資料 1-7 のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、2022 年 3 月 31 日付で退職する野上敦嗣教授の後任として、環境マネジメント担当教員 1 名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）  
（議案承認の後、選考委員会を設置）

\* 資料 1-8 のとおり、教育職員の休職について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

## 第2号 特任研究員の選考について

\* 資料2 のとおり、国際環境工学部の特任研究員5名の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

## 第3号 アセスメントプランの策定について

\* 資料3 のとおり、アセスメントプランの策定について提案。

- 内部質保証推進室（教育改革推進室）において、アセスメントプランを再整備し、策定したもの。3つの方針（卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針）に基づいて、3つのレベル（機関レベル、学位プログラムレベル、科目レベル）で自己点検・評価を行うもの。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

## 第4号 アセスメントプランにおける点検評価の実施について

\* 資料4 のとおり、アセスメントプランにおける点検評価の実施について依頼。

- アセスメントプランに沿って、組織レベル・教員レベルでの点検評価の実施を依頼するもの。
- 段階評価をするにあたり、大学共通の基準のようなものが示されるのか。また、教員レベルの点検については、各科目ごとに確認し、それをとりまとめて評価するということか。
- 各学部等が自己点検・評価する中で、DPに照らして相応の教育が行われているかを組織として判断し、段階評価していただきたい。また、個別の科目において、成績評価に偏りが生じている状況等は一般的な常識に鑑みて部局で判断いただきたい。
- ある程度各部局の判断で、自己点検・評価を行うとの理解でよいか。
- 基本的な方針はそのとおりだが、主観的な点検・評価ではなく、データに基づく点検・評価を行っていただきたい。
- 組織レベルと教員レベルとで点検評価を行っていただくが、教員レベルでは各科目で自己点検・評価を行い、学科等がとりまとめを行う。組織レベルでは部局全体での自己点検・評価を行っていただきたい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

## 第5号 教育改革推進室の再編について

\* 資料5 のとおり、教育改革推進室の再編について提案。

- 教学IR推進体制をより一層充実させるため、教育改革推進室内に教学IR部門と教育改革部門を設置し、IR室を廃止するもの。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

## 報告

- ① 2021年度部局活動計画について
- ② 数理・データサイエンス・AI科目内容（案）について
- ③ 第46回緊急対策本部会議での協議内容について（口頭）